

国名(日本語)	トリニダード・トバゴ共和国
国名(英語)	Republic of Trinidad and Tobago



国名の由来	<p>国土を構成する2つの島、トリニダード島とトバゴ島を合わせたもの。前者は、コロンブスが島にある3つの山を見てスペイン語で「トリニダッド丘陵」と名付けたことに由来する。これはキリスト教の教義の三位一体（神、キリスト、聖霊）を意味する。トバゴは先住インディオの言葉で「丘陵地」のこと。</p> <p>ヨーロッパ人との出会いはトリニダード島が先で、15世紀末にコロンブスが来航。その後、16世紀末にイギリス人がトバゴ島に来航し、19世紀末に両島を合わせてイギリスの植民地となり、農園の労働力をして、西アフリカの黒人奴隷やインド人が連れてこられた。イギリス自治領を経て、1962年独立。カリブ海諸国の中で唯一の産油国。</p>
国旗の由来	<p>地色の赤は、資源と国民の活力そして太陽の恵みを表している。黒の太い射線は献身・団結・力を富を表し、2本の白い線は、トリニダード島とトバゴ島の2つの島を表し、海と人種の平等と向上心を意味している。</p>
1 面積	5,130平方キロメートル (千葉県よりやや大きい)(2014年 世界銀行)
2 人口	135.4万人(2014年 世銀)
3 首都	ポート・オブ・スペイン
4 言語	英語(公用語)、ヒンディー語、フランス語、スペイン語
5 宗教	キリスト教(カトリック、英国国教会等)、ヒンドゥー教、イスラム教等
6 豆知識	クリケット、サッカー、テニス、ゴルフなどが盛んである。